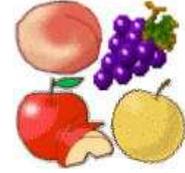




平成24年度 果樹情報 第16号

(平成24年11月5日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況 (10月4～6半旬：果樹研究所)

平均気温は4半旬が13.9℃で平年より0.5℃低く、5半旬が13.8℃で0.7℃高く、6半旬が12.8℃で平年より0.5℃高い状況でした。この期間の降水量は34.5mmで平年の74%でした。

2 土壌の水分状況 (11月1日現在)

果樹研究所における土壌水分 (pF値：無かん水・草生栽培りんご園) は、深さ20cmで2.5、40cmは2.2、深さ60cmは2.4とともに適湿状態にあります。

3 生育概況 (果樹研究所)

(1) りんご

ア 果実肥大 (11月1日現在)

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が85.2mmで平年比102%、横径が93.3mmで平年比104%と平年よりやや大きい状況です。

また、満開後日数による比較でも、平年よりやや大きい状況です。

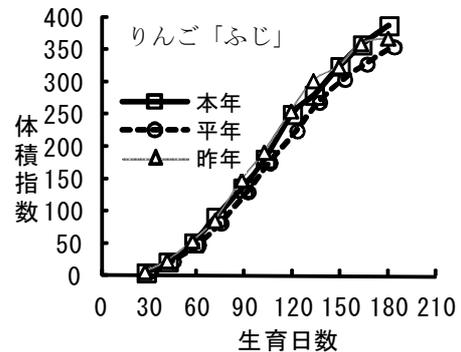


図1 りんごの果実肥大 (11月1日現在)

イ 収穫期と果実品質

主要品種の収穫期と果実品質は表1のとおりとなっています。

表1 リンゴの主要品種の収穫期と果実品質 (果樹研究所調査)

品種	収穫始(月/日)			収穫盛(月/日)			収穫終(月/日)			平均果重(g)			糖度		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/31	8/28	8/26	9/3	9/4	9/1	9/10	9/8	9/5	321	284	323	13.2	12.6	12.8
ジョナゴールド	10/3	10/9	10/3	10/9	10/13	10/7	10/15	10/18	10/12	372	368	364	14.5	13.4	15.1
陽光	10/15	10/16	10/17	10/19	10/19	10/24	10/23	10/19	10/31	354	333	404	14.7	14.3	15.6
王林	10/30	10/22	10/24	未	10/25	10/27	未	10/28	10/31	未	309	345	未	14.1	15.9
ふじ	未	11/13	11/14	未	11/16	11/18	未	11/26	11/24	未	351	401	未	15.3	15.9

注1) 平年値は、1976～2010年の平均値。未は未確定。

注2) つがる、ジョナゴールド、陽光、王林については、本年度から調査樹が若木に変更となった。

ウ 「ふじ」の裂果発生状況

11月1日現在の「ふじ」/マルバカイドウ (47年生) の内部裂果発生率は30% (昨年44%)、外部裂果発生率は24% (昨年22%) の状況でした。

エ 「ふじ」の果実成熟状況 (満開後178日)

10月28日現在の「ふじ」の成熟状況は、硬度は14.3ポンドで平年並み、デンプン指数は4.5で平年よりやや高くなっています。蜜入り指数は1.23で平年より遅れている状況です。また、糖度は15.0で平年より高く、リンゴ酸は0.39%でした。果皮中のアントシアニン含量、クロロフィル含量は平年並みの状況でした。

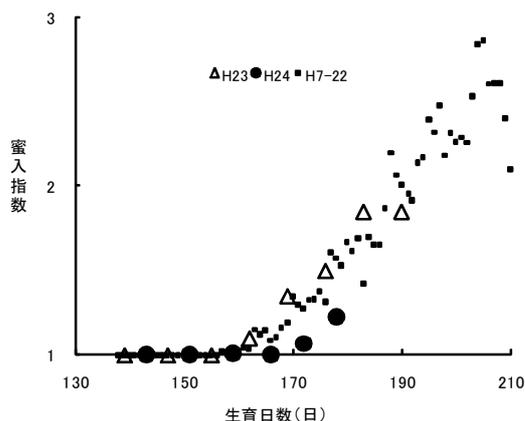


図2 「ふじ」の蜜入り指数の推移

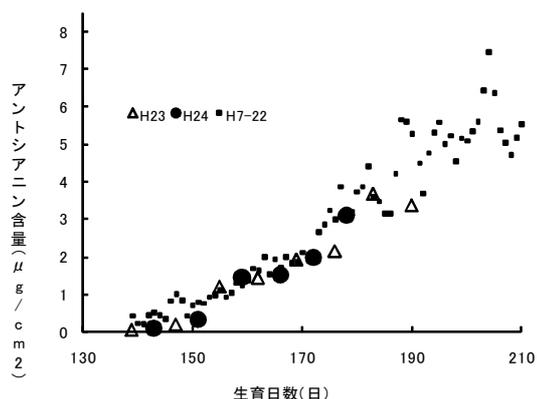


図3 「ふじ」のアントシアニン含量の推移

※ りんごのデンプン指数：ヨードカリ液による染色が濃いほど未熟（指数1：100%染色、指数2：果芯部以外染色、指数3：果芯部の外側まで染色せずデンプンが消失しており果実切断面の50%以上が染色、指数4：果実切断面の20～50%が染色、指数5：染色部位はほぼ果皮直下に限られる）。

※ 蜜入り指数：指数が高いほど蜜入りが良好（図4）。

※ 果皮中のアントシアニン含量は数値が高いと着色が良く、クロロフィル含量は数値が高いと地色の緑色が濃い状態であることを示します。

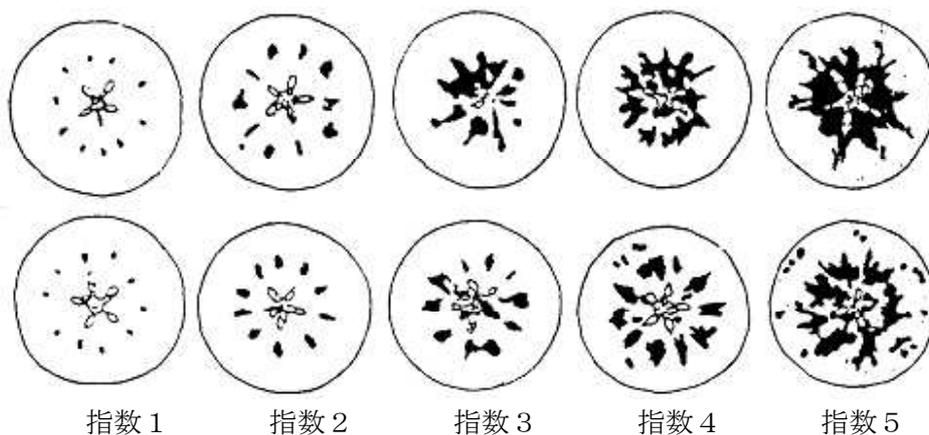


図4 りんごの蜜入り指数

4 栽培管理上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫

着色系ふじの収穫は、出荷規格に達した果実から遅れないよう収穫を実施しましょう。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。